

鹿県身障

かんぎ 成宜



就任のご挨拶

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会

会長 藤田 満

発行所

社会福祉法人 鹿児島県 身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3階 電話099-228-6271

発行人 藤田 満 かんぎ 第155号

令和元年度

鹿児島県障害者保健福祉大会

10月30日県民交流センターにおいて、障害者とその家族等408名が参加して開催されました。

社会福祉功労者に対する知事表彰及び団体長表彰に続き、「2020年『燃ゆる感動かごしま大会』を感謝の想いで迎えるために」と題し神田裕透さんによる体験発表と「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞を受賞された鹿児島市立西紫原小学校5年生安田湧さん、薩摩川内市立川内中央中学校3年生末吉愛吹さん、鹿児島県立鶴丸高等学校2年生日渡美和さんによる作文の発表が行われました。

また、中尾有沙氏をお招きし「夢への道のり」という演題で講演をしていただきました。三段跳びの陸上競技選手として活躍されていた中尾選手は、不慮の事故により車いす生活になりましたが、そんな苦難を乗り越え車いす陸上競技の選手として東京パラリンピックを目指して挑戦していることなどを話されました。

【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

・自立更生の部 鹿児島市 神田 裕透

・枕崎市 今給黎 正光

・阿久根市 早水 フチノ

・阿久根市 山元 八生子

・更生援護の部 霧島市 井料 勝

・長島町 千年原 孝

・知名町 巨 富 徳

私は、昨年9月4日付けをもちまして第4代会長として就任いたしました。突然の佐藤前会長の逝去により、会長の重責を担うこととなり身の引き締まる思いであります。諸先輩方には及びませんが、協会活動の充実と発展に誠心誠意取り組んで参る所存であります。皆様もご承知のとおり、近年、国では「障害者差別解消法」をはじめとする様々な法整備が進み、また、本県では「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」の制定やヘルプカードの導入など共生社会の実現に向けた制度改革は大きく前進しています。その一方で、心のバリアフリー

の推進など障害及び障害者理解のより一層の啓発促進、近年多発する災害への備え、障害者の雇用促進、情報通信技術の活用支援などこれまでの障害者福祉の枠組みだけでは対応しきれない様々な課題が生じてきており、これからは少子高齢化の進展や障害の多様化に伴い福祉政策も変わっていくと思われま

す。このような中で、私としては、本会の果たすべき役割を自覚し、更なる身体障害者の福祉向上のため、差別解消に関する各種活動を行っていくとともに、鹿児島県の指定管理者として県障害者自立交流センター及び県視聴覚障害者情報センター(旧点字



かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させて頂いたことについてお礼。

第50回九州身体障害者福祉大会 第27回九州ブロック身体障害者相談員研修会

佐賀大会 開催

令和元年11月14日(木)～15日(金)第50回九州身体障害者福祉大会及び第27回九州ブロック身体障害者相談員研修会が佐賀市文化会館において開催され、九州各県・政令指定都市から約1200名、本県からは藤田会長をはじめ42名が参加しました。

1日目は、内閣官房東京オリムピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画官菊田逸平氏から「東京パラリンピックを契機とした共生社会の実現とそれに向けた地域の役割」と題し行政説明がありました。

その後、2つの研究部会に分かれ、各テーマに沿ってパネルディスカッションが行われました。第1研究部会では、「障害者差別解消法の理解と啓発について」及び「行政との連携及び災害時に備えた組織強化」の2つのテーマで活発な討議が交わされました。本県からは藤田会長が「府中地区自主防災ネットワークの構築」というテーマでパネラーとして出席し、自治公民館単位で要支援者の災害時避難体制を構築するため、あらゆる

組織活動功労表彰を受賞されました。誠に改めてとうござい
ます。
第二部では、「佐賀県における障害者差別解消法に向けた取り組み」と題し、西九州大学健康福祉学部社会福祉学科長・教授 滝口真氏による講演がありました。
第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」

台風接近で無念の全日程中止

次回かごしま大会でも対応課題に

10月12日から3日間にわたり茨城県内で開催予定だった同大会は、台風19号の接近により全日程中止になりました。

大会実行委員会は、来県日の前日である9日に、水泳など6競技の中止を発表。翌日朝にはアーチェリーやボウリング、昼ごろ卓球の中止が決まり、中止競技数が大会開催の基準となる3分の2以上に達しました。この状況を受け、茨城県など主催者が協議し、史上初となる大会全日程中止が発表されました。

本県は、次年度開催県であるため通常より多い個人競技51選手を選出。役員・介助員58を含めた109名が本県選手団として参加予定でした。10日、中止が発せられていない競技の開催を信

じた。
第三部の議事では、大会宣言及び大会決議がそれぞれ満場一致で採択され閉幕しました。
今回は、令和2年11月10日～11日に熊本県で開催されます。ご参加よろしくお願ひします。
第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」です。関東地方以上に台風の影響を受けやすい本県。今回の茨城大会を教訓に、台風等災害を想定した対応策の事前整備が求められます。

燃ゆる感動かごしま大会 リハーサル大会
令和2年 5/16,17

個人競技	陸上競技(身・知)	17	白波スタジアム
	水泳(身・知)		鴨池公園水泳プール
	アーチェリー(身)		鹿児島ふれあいスポーツランド
	卓球(身・知)・サウンド		ハートピアかごしま
	テーブルテニス		
	フライングディスク(身・知)		県立サッカー・ラグビー場
	ボウリング(知)		サンライトゾーン
	バスケットボール(知)	16・17	始良市総合運動公園体育館
	車いすバスケットボール(身)		いちき串木野市総合体育館
	ソフトボール(知)	17	知覧平和公園多目的球場
団体競技	フットベースボール(知)		知覧平和公園陸上競技場
	グラウンドソフトボール(身)	16・17	開間総合グラウンド
	バレーボール(身・知)	17	南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)
	バレーボール(精)	16・17	平和公園串良平和アリーナ
	サッカー(知)		国分運動公園陸上競技場・多目的広場

あつた選手団向けの説明会では、中止決定の判断方法や、中止発表のタイミングの拙さを指摘する声が多数上がりました。次回大会に向け、中止基準の明確化や中止決定の時期など新たな課題が見えてきました。
次回大会は本県開催。第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」です。関東地方以上に台風の影響を受けやすい本県。今回の茨城大会を教訓に、台風等災害を想定した対応策の事前整備が求められます。

あつたか交流フェスタ 2019 ご来場ありがとうございました

障害者週間の一環としてスポーツ・文化教室体験や各種イベントを通して、障害者と県民が交流しながら障害者についての理解と関心を深めることを目的に今回で11回目の開催となりました。延べ約1300人と多勢の方にご来場いただきました。

【県内各地からゆるきやらも集合！】

- おなじみ「ぐりぶー」のお嫁さんの「さくら」と子どもの「かごぶー」をはじめ、阿久根市からは「阿つくん」、鹿屋市からは「ばらら」、垂水市からは「たる」、南九州市から「お茶むらい」が訪れ、イベントを盛り上げてくれました。
- ② 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校
1・2年生17名による美しいハーモニード3曲を披露。会場の手拍子もあり、楽しいステージでした。
- ③ ジャグリングショー（吉田匠吾さん）
ボールとカップのジャグリングステージに、ワクワク・ドキドキ感満載で会場が盛り上がりました。
- ④ フラダンス（アンズリウム）
4歳から70代まで幅広い年齢層のフラガール15名が全6曲のフラを舞い、華やかなステージとなりました。

【ふれあいステージ】

司会は苑とも子さん。楽しいおしゃべりと、素敵な歌声でステージを盛り上げ進行してくださいました。

① エクセルバトンスクール鹿児島

キッズから、高校生・社会人まで44名による一部構成のステージ。元気いっぱい、かっこよく、スピードある華麗な演技を披露してくれました。

⑤ タヒチアンダンス（KPD A ティアレニナム）

早いテンポで大胆な動きとしなやかさが織りなす5名の華麗なダンスに会場は魅了されました。

【体験コーナー】

★癒し体験
人気の癒し体験コーナーの「骨密度測定（健康増進センター）」と「あんまマッサージ（鹿児島盲学校）」には今年も多くの方が参加され、健康チェックを行っておられました。

★文化教室体験
教室体験では、作品作りに挑戦。生け花教室では素敵な生け花を、手芸教室では、かわいいクリスマス飾りを作りました。陶芸教室で手びねり作品を、雑貨作り教室ではポップなストラップを作成し、お持ち帰り。

★スポーツ体験

競技用車いすの試乗体験を行い、ソフトボールやバドミントンなどにも挑戦。競技用スポーツ義足体験も。また、ナンチェスターユニテッド鹿児島島の皆様の協力で、電動車いすサツカーを体験。パスやシュートに挑戦。

【キッズ・縁日コーナー】

小さな子供達を中心にバルーンアートや的あて、折り紙などを楽しんでいただきました。わたがし・ポップコーンの実演販売も。

【食事コーナー】

毎年大人気の有木商店（おこわ）をはじめ、CocODEキッチン（タコライス）、奇跡の手羽先（とりめしなど）、ウクレレ食堂（クリームシチューなど）、1階のレストランプメハナのご協力をいただきました。カフェ教室からはあつたかカフェを出店しました。

【みなさんのご協力の賜物です】

ご参加いただいた個人・団体ボランティアの皆様は多大なご協力のもと多くの方に楽しんでいただけたイベントを開催することができました。心より感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



エクセルバトンの華麗な演技

第19回九州身体障害者ゴルフ大会
10月25日に佐賀県嬉野総合運動公園で開催されました。

九州各県・政令指定都市の代表28チーム総勢156名が参加し、グラウンド・ゴルフ競技をとおりして親睦と交流を深めました。鹿児島県からは県大会で3位までの始良・串良・松元チームが参加しました。鹿児島県チームは日頃の練習の成果を十分発揮し、団体の部では、2位と1打差で松元チームが団体3位。個人の部では、和田重則さん（松元）が優勝、森園勝さん（串良）が準優勝と鹿児島県チームのワンツーフィニッシュの快挙でした。



団体3位の松元チーム



個人優勝の和田さん

令和元年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

次の皆様方に、令和元年度の賛助会員として加入いただきました。ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介いたします。ありがとうございました。

(順不同 敬称略)

令和2年2月1日現在

Table with 2 columns: 団 体 名 (Organization Name) and 団 体 名 (Organization Name). Lists various member organizations such as 公益社団法人昭和会, 株式会社北義肢製作所, etc.

計43法人・団体

第65回日本身体障害者福祉大会のお知らせ

今年、次のとおり広島県において開催されます。奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

- 開催日 令和2年6月3日(水)・4日(木)
場所 広島市・リーガロイヤルホテル広島・広島県立総合体育館
申込先 鹿児島県身体障害者福祉協会
099-228-6271

令和元年度 鹿児島県身体障害者相談員研修会 開催

1月24日(金)、ハートピアかごしまにおいて開催しました。県内の身体障害者相談員や関係機関から70名の参加がありました。

冒頭は、鹿児島市障害者基幹相談支援センターの浜崎倫洋氏が「障害福祉サービス等の概要と活用」について講演。相談支援センターの役割等を解説しました。次に、県相談員協議会の黒木副会長が講師を担当。「相談員活動の資質向上と基礎知識」をテーマに相談者の真意を引き出す会話術について、会場との意見交換を交えながら進進しました。

参加した相談員の方からは、「人に寄り添い、傾聴することの難しさを改めて実感した」との感想が聞かれるなどいずれも今後の相談員活動に活かすことができ、大変有意義な研修会となりました。

行事予定

- 第20回全国障害者スポーツ大会 リーガル大会
5月16・17日(日) 鹿児島市他
第65回日本身体障害者福祉大会
6月3日(水) 4日(木) 広島県
県身体障害者ゲートボール大会
6月10日(水) (予定) 鹿児島市
第20回全国障害者スポーツ大会
「燃ゆる感動かごしま大会」
10月24日(土) ~ 26日(月) 鹿児島県内各地
第51回九州身体障害者福祉大会
第28回九州ブロック身体障害者相談員研修会
11月10日(火) 11日(水) 熊本市

県障害者保健福祉大会
11月12日(木)
県民交流センター

「あつたか交流フェスタ2020」
12月6日(日)
ハートピアかごしま

表彰

令和元年度 厚生労働大臣表彰受賞(更生援護功労者)
浅井重己氏

いちき串木野市協会会長を務められ、永年にわたり身体障害者の更生援護に尽力された功績により栄えある受賞をされました。心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

寄付へのお礼

令和元年11月
MBC開発株式会社様
ご寄付ありがとうございました。身体障害者の福祉の向上に活用させていただきます。

